

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
3年生以上でのチーム担任制(中学年)・学年担任制(高学年)	
②学校名	
栗東市立大宝東小学校	
連絡先 077-551-2300	
③取組分野(複数選択可)	
■教育課程等(授業時数の点検、日課表の見直し、カリキュラム、教科担任制、行事の精選等)に関する取組	
④直面していた課題(取組前の様子)	
午前5時間40分授業を市内において唯一実施している。 働き方改革の観点から放課後時間の確保のための取組である。その後のプランとして教科担任制を3年生以上で実現し、チーム担任制を中学年で、学年担任制を高学年で進めている。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>中学年</p> <p>①チーム担任制(2学級を2人+教務主任)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4年とも、2学級2人に教務主任を加え3人をチームとする。 ・教務主任は3・4年のどちらのチームにも所属する。 <p>②教科担任(3・4年の教科、4学級を6人(市費加配を含め)で担当)</p> <p>取組のポイント</p> <p>①は教務主任が3・4年にチームとして加わり、担任として朝の会・帰りの会や給食の時間等を担当する。</p> <p>②は市費の専科加配も教務主任の授業を一部担う。</p>	 <p><朝の会の風景></p>
⑦取組の成果	
<p>チームとして児童対応を行うので、複数の目で児童の観察ができる。また急に生徒指導対応があった場合も空いている教員が対応できる。</p> <p>成果のポイント</p> <p>学級数より多い複数の人数でチームを作ることにより、急な教員の休みや出張等に対応ができる。</p>	<p>一方の担任が朝の会に関わり、もう一方の担任が連絡帳を確認したり家庭学習のノートをみたりしている様子。</p>